ソフトウェア改良開発コンサルメニュ

1. 改良開発業務の経営貢献診断	• いかなる改善・改革であっても、その入り口は現状認識と目標設定です。 • 本サービスは、ＩＴＩＬ、ＢＳＣ、ＣＭＭＩなどの知見を取り込んだフレームで、保守業務が「経営に貢献できないリスク」「利用者に満足いただけないリスク」を診断し、改善の優先順位を提示いたします。
2. 改良開発業務新見積り手法導入支援	• この手法は、保守依頼の受付段階で保守内容のみによって保守工数を見積ることのできる方法で、「見積りの見える化」、「見積りの脱超ベテラン」を実現する画期的手法です。 • 本サービスでは、この見積り手法の根幹をなす見積り用パラメータ設定のお手伝いをいたします。
3. 改良開発の要件定義業務整備支援	• 改良開発の要望受付から改良開発実施の決定までの検討プロセスは、どちらかというと「担当者任せ」で、明確な検討手順が設定されていない場合が大半です。このことにより多くの問題が発生しています。 • 本サービスでは、大きな手間をかけることなく的確な要件設定ができる方法を、御社の状況に合致した内容の手順書として作成させていただきます。
4. 影響範囲調査ツール導入支援	• ソフトウェア保守の作業やシステムの品質を大きく左右するのが影響調査です。しかし、実際には、多くの企業でドキュメントが存在しなかったり、ドキュメントが陳腐化していたりすることが多く、効率的に保守を進めることが難しい状況にあります。 • 本サービスは、実際のプログラムなどのソースから、プログラム間の関連や、データとの関連を可視化する「影響範囲ツール」を導入することをご支援するものです。
5. 改良開発用ドキュメント整備支援業務情報系	• ソフトウェア保守で重要な知識には、対象業務の知識があります。 • 本サービスは、業務知識として必要な業務フローや業務データモデルを整備するお手伝いをするものです。
6. 改良開発用ドキュメント整備支援システム情報系	• 現在の情報システムには多数のシステムドキュメントが存在しています。しかし、その内容はドキュメント間で重複が多く、不要な情報なども混在しています。 • 本サービスは、ドキュメントをソフトウェア保守に必要最低限なものに限定することによって、保守作業の効率化と、結果をドキュメントに反映する工数の削減を実現するお手伝いをするものです。
7. 改良開発用ドキュメント整備支援設計思想情報(設計方針情報）系	• 通常のシステム開発では、機能分割基準や機能配置基準などの設計思想を作成してから開発されます。しかし、多くの場合、設計思想は様々なドキュメントに分散しており、設計思想が踏襲されずに徐々に崩れていきます。設計思想の異なるソフトウェアが混在すると、メンテナンス漏れによるトラブルや同一機能を多数作成してしまう恐れがあります。 • 本サービスは、弊社の保有する設計思想項目を元に、分散している設計思想をひとつのドキュメントにまとめなおすものです。
8. 改良開発用情報のリポジトリ化支援	• 多くのシステム関連のドキュメントは概要設計書に記載されているプロセスの詳細が別の設計書に記載されるなど、それぞれ多くの関連を持っています。これらのドキュメントを関連付けて管理するデータベースがリポジトリです。 • 本サービスでは、リポジトリの設計・構築、運用体制・ルールの設計を支援するものです。
9. データクオリティマネジメント整備支援	• 現在の情報システムは単一システムからのデータだけではなく、多くのシステムを経由したデータをさらに加工するようなことが増えています。このような状況では、それぞれのシステムには不具合がないのに集計タイミングなどの運用のずれなどから、データの整合性が崩れてしまう場合があります。 • 本サービスは、データ品質の維持策の実施やツールの導入を支援するものです。
10. 改良開発の改善改革マニュアル提供サービス	• 改良開発の実施方法はこれまで本格的な改善が実施されていません。そのため、改善の「宝の山」状態となっております。 • 本サービスでは、以下の知見を集大成して改良開発業務の改善・改革用のマニュアルを作成しています。㈱データ総研・システム企画研修㈱のコンサル成果、研究会の成果、各社での実践成果、各種公表資料。 • このマニュアルの最新版に御社の特定ニーズを加味した特別版の提供も可能です。